

# つながり

～デジタルとアナログの共存～

## 情報の共有

2本の柱

デジタル的信息共有

システム関係等

(学生カルテなど)

アナログ的信息共有

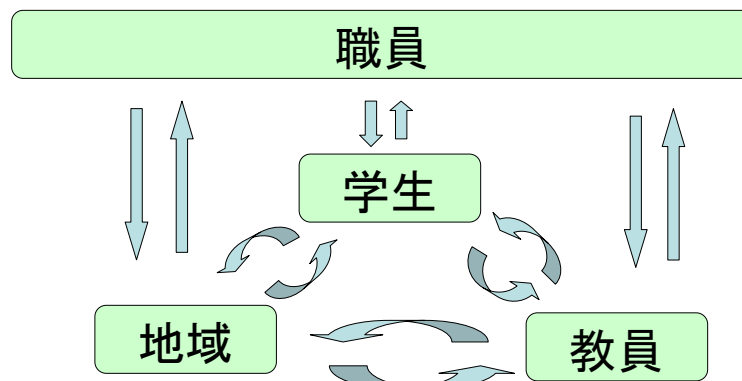
コミュニケーション

(ミーティングなど)

## コミュニケーション

教職員、学生、地域の「つながり」が特に必要。

→ 共通の目的・目標があれば...



職員 ↔ 職員

### 問題点

- ・ 他部署の動きがわからない
- ・ 同じ部署でも他の人の仕事の状況がわからない
- ・ 引継ぎの方法

コミュニケーション不足では？

### 問題解決のためになにができるか？

- ・ 短期的でも目標を立てる
- ・ ミーティングなどで情報交換
- ・ PDCAサイクルの  
CheckとActionを確実に

部内  
部署間

### 教員 ↔ 職員

#### 問題点

- ・ 必要なときにしか連絡を取り合わない
- ・ 教員の居場所がわからない
- ・ 対立意識がある
- ・ 学生の指導状況がわからない

コミュニケーション不足では？

### 問題解決のためになにができるか？

- ・ 話をするときは短い用件でもメールではなく電話をする
- ・ 教員と学生の間に職員
- ・ 教員に名前を覚えてもらう
- ・ 学生カルテを利用
- ・ 知識を身に付け、信頼を深める

### 学生 ↔ 職員

#### 問題点

- ・ 対応してあげられない
- ・ 学生をたらいまわしにしてしまう
- ・ 距離感
- ・ お互いの名前

コミュニケーション不足では？

### 問題解決のためになにができるか？

- ・ 学生の話最後まで聞き、共感する
- ・ 挨拶をする
- ・ 学生が尋ねやすい雰囲気作り
- ・ ピアサポーター
- ・ 教員との間に立つ
- ・ 名前を覚える

### 地域 ↔ 職員(大学)

#### 問題点

- ・ 地域貢献を謳っても関わりが希薄の現状
- ・ イベントを開催してもフィードバックが少ない

では、PDCAサイクルにあてはめて改善すると...

## 事例：クリーンキャンペーン

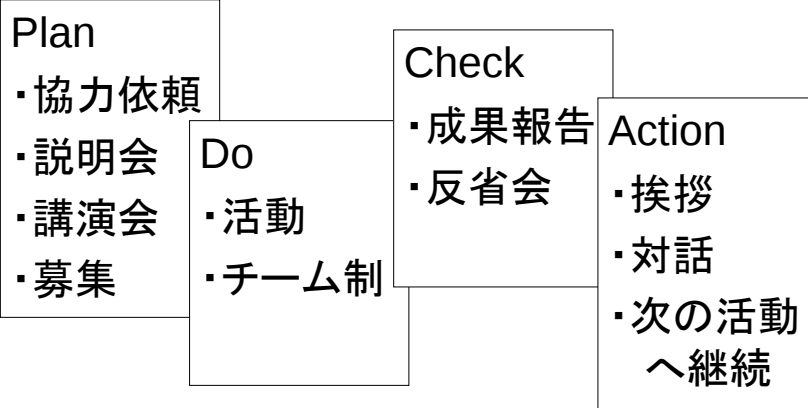
共通目標：

- ・ 地域貢献
- ・ 教員、学生、職員、地域住民間の  
コミュニケーションを深める
- ・ マナー意識の向上      etc...

活動を通して、  
お互いのコミュニケーション活性

## 職員の目的

- ・ 多くの教員、学生、職員に参加してもらう
- ・ 大学外の地域の人と触れ合うことで、意識を変える



## まとめ

情報を共有するためには、教職員と学生間でのコミュニケーションを深めることが重要。

デジタル面の情報共有では学生カルテなどの利用があるが、まずは基本的な人と人との「つながり」がなければシステムも有効活用することができない。